

(13) 実行教育課程表（令和8年度入学者用）

理学院共通科目

授 業 科 目	単位	開講期等	週当配当時間数			主な対象学年	教職課程	備 考	修 了 要 件
			講義	演習	実験実習				
博士前期（修士）・博士後期課程 (選択科目)									
国際理学イニシアチブ特論	1	(不 定)	2			MC1～2	数学・理科		
特別講義Ⅰ	1	(不 定)	1			MC・DC	—		
特別講義Ⅱ	2	(不 定)	2			MC・DC	—		
特別演習Ⅰ	1	(不 定)		1		MC・DC	—		
特別演習Ⅱ	2	(不 定)		2		MC・DC	—		
特別実習Ⅰ	1	(不 定)			2	MC・DC	—		
特別実習Ⅱ	2	(不 定)			4	MC・DC	—		
理学データサイエンス特別講義	1	(不 定)	1			MC1～2	—		
理学データサイエンス特別演習	1	(不 定)		1		MC・DC	—		
海外研究インターンシップⅠ	1	通 年			2	MC・DC	—		
海外研究インターンシップⅡ	2	通 年			4	MC・DC	—		

備考

- 教職課程欄は「認定を受けている免許状の種類を示す。なお、専修免許状（中学又は高校）を申請しようとする者は、「大学が独自に設定する科目」について、合計24単位以上を修得すること。
ただし、免許教科及び学校種ごとに1種免許状の基礎資格を充足していなければならない。
- 同一授業科目で内容の異なる授業が開講される場合は、当該授業科目を複数履修することができる。
- 開講期等は、都合により変更することがあるので、シラバスやELMSグループのMoodleで確認すること。
- 開講期が「不定」「集中」の科目は時期が決まり次第、ELMSグループのMoodleでお知らせします。
- 学期の名称と時期は以下のとおり。
※年度によっては、曜日の都合により学期開始終了月が変わることがあるので、年間行事予定等で確認すること。
・第1学期前半：春ターム 4月～5月
・第1学期後半：夏ターム 6月～7月
・第2学期前半：秋ターム 10月～11月
・第2学期後半：冬ターム 12月以降

数学専攻

授 業 科 目	単位	開講期等	週当配当時間数			主な対象学年	教職課程	備 考	修 了 要 件
			講義	演習	実験実習				
博士前期（修士）課程 （必修科目）									博士前期（修士）課程の 修了要件 必修科目10単位、第1選択科目及び第2選択科目から20単位以上を含み、合計30単位以上を修得すること。 第2選択科目の単位には、理学院共通科目、大学院共通授業科目及び他専攻・他研究科の授業科目を含むことができる。
数学研究 （第1選択科目）	1 0	通 年		5		MC1～2	数学		
現代数学概説	1	第1・2学期	2			MC1～2	数学		
数理科学概説	1	第1・2学期	2			MC1～2	数学		
数学基礎研究Ⅰ	2	第1学期		2		MC1	数学		
数学基礎研究Ⅱ	2	第2学期		2		MC1	数学		
数学基礎研究Ⅲ	2	第1学期		2		MC2	数学		
数学基礎研究Ⅳ	2	第2学期		2		MC2	数学		
数学基礎探究	1	第1学期		1		MC1	数学		
数学交流探究	1	第2学期		1		MC1～2	数学		
数学独立探究Ⅰ	2	第1学期		2		MC1～2	数学		
数学独立探究Ⅱ （第2選択科目）	2	第2学期		2		MC1～2	数学		
代数学講義	2	第1・2学期	2			MC1～2	数学		
代数学特論A	1	第1・2学期	2			MC1～2	数学		
代数学特論B	1	第1・2学期	2			MC1～2	数学		
幾何学講義	2	第1・2学期	2			MC1～2	数学		
幾何学特論A	1	第1・2学期	2			MC1～2	数学		
幾何学特論B	1	第1・2学期	2			MC1～2	数学		
数理解析学講義	2	第1・2学期	2			MC1～2	数学		
数理解析学特論A	1	第1・2学期	2			MC1～2	数学		
数理解析学特論B	1	第1・2学期	2			MC1～2	数学		
代数学特別講義	1	（集 中）	1			MC1～2	数学		
幾何学特別講義	1	（集 中）	1			MC1～2	数学		
数理解析学特別講義	1	（集 中）	1			MC1～2	数学		
博士後期課程 （第3選択科目）									博士後期課程の修了要件 博士前期（修士）課程から通算して30単位以上を修得すること。※例外規定あり（学院規程第7条参照）
数学特別研究	1 2	通 年		6		DC1～3	—		

備考

1. 教職課程欄は「認定を受けている免許状の種類を示す。なお、専修免許状（中学又は高校）を申請しようとする者は、「大学が独自に設定する科目」について、合計24単位以上を修得すること。
ただし、免許教科及び学校種ごとに1種免許状の基礎資格を充足していなければならない。
2. 同一授業科目で内容の異なる授業が開講される場合は、当該授業科目を複数履修することができる。
3. 開講期等は、都合により変更することがあるので、シラバスやELMSグループのMoodleで確認すること。
4. 開講期が「不定」「集中」の科目は時期が決まり次第、ELMSグループのMoodleでお知らせします。
5. 学期の名称と時期は以下のとおり。

※年度によっては、曜日の都合により学期開始終了月が変わることがあるので、年間行事予定等で確認すること。

- ・第1学期前半 : 春タム 4月～ 5月
- ・第1学期後半 : 夏タム 6月～ 7月
- ・第2学期前半 : 秋タム 10月～11月
- ・第2学期後半 : 冬タム 12月以降

物性物理学専攻

授 業 科 目	単位	開講期等	週当配当時間数			主な対 象学年	教職 課程	備 考	修 了 要 件
			講義	演習	実験 実習				
博士前期（修士）課程 （必修科目）									博士前期（修士）課程の 修了要件 必修科目から12単位、選択科目から18単位以上を含み、合計30単位以上を修得すること。 選択科目の単位には、理学院共通科目、大学院共通授業科目及び他専攻・他研究科の授業科目を含むことができる。
物理学論文輪講	4	通 年		2		MC1～2	理科		
物理学特別研究 1	8	通 年			8	MC1～2	理科		
（選択科目）									
現代物理学入門	1	第 1 学期前半	2			MC1～2	理科		
統計物理学	2	第1または2学期	2			MC1～2	理科		
計算物理学	2	第1または2学期	2			MC1～2	理科		
量子統計物理学	2	第1または2学期	2			MC1～2	理科		
誘電体物理学	2	第1または2学期	2			MC1～2	理科		
量子光物性	2	第1または2学期	2			MC1～2	理科		
半導体物理学	2	第1または2学期	2			MC1～2	理科		
電子物性物理学	2	第1または2学期	2			MC1～2	理科		
超伝導物理学	2	第1または2学期	2			MC1～2	理科		
極低温物理学	2	第1または2学期	2			MC1～2	理科		
磁性物理学	2	第1または2学期	2			MC1～2	理科		
強相関電子論	2	第1または2学期	2			MC1～2	理科		
量子デバイス物理学	2	第1または2学期	2			MC1～2	理科		
量子物性物理学	2	第1または2学期	2			MC1～2	理科		
博士後期課程 （選択科目）									博士後期課程の修了要件 博士前期（修士）課程から通算して30単位以上を修得すること。※例外規定あり（学院規程第7条参照）
物理学特別研究 2	1 2	通 年			1 2	DC1～3	—		
物理学特別研究セミナー A	3	第 1 学期前半			1 2	DC1～3	—		
物理学特別研究セミナー B	3	第 1 学期後半			1 2	DC1～3	—		
物理学特別研究セミナー C	3	第 2 学期前半			1 2	DC1～3	—		
物理学特別研究セミナー D	3	第 2 学期後半			1 2	DC1～3	—		
博士前期（修士）・博士後期課程 （選択科目）									
物理学特別講義Ⅰ	1	（不 定）	1			MC・DC	—		
物理学特別講義Ⅱ	2	（不 定）	2			MC・DC	—		
物理学特別講義Ⅲ	3	（不 定）	3			MC・DC	—		

備考

1. 教職課程欄は「認定を受けている免許状の種類を示す。なお、専修免許状（中学又は高校）を申請しようとする者は、「大学が独自に設定する科目」について、合計24単位以上を修得すること。
ただし、免許教科及び学校種ごとに1種免許状の基礎資格を充足していなければならない。
2. 同一授業科目で内容の異なる授業が開講される場合は、当該授業科目を複数履修することができる。
3. 開講期等は、都合により変更することがあるので、シラバスやELMSグループのMoodleで確認すること。
4. 開講期が「不定」「集中」の科目は時期が決まり次第、ELMSグループのMoodleでお知らせします。
5. 学期の名称と時期は以下のとおり。

※年度によっては、曜日の都合により学期開始終了月が変わることがあるので、年間行事予定等で確認すること。

- ・第1学期前半 : 春タ一ム 4月～ 5月
- ・第1学期後半 : 夏タ一ム 6月～ 7月
- ・第2学期前半 : 秋タ一ム 10月～11月
- ・第2学期後半 : 冬タ一ム 12月以降

宇宙理学専攻

授 業 科 目	単位	開講期等	週当担当時間数			主な対象学年	教職課程	備 考	修 了 要 件
			講義	演習	実験 実習				
博士前期（修士）課程 (必修科目)									博士前期（修士）課程の 修了要件 必修科目から12単位、選択科目から18単位以上を含み、合計30単位以上を修得すること。 選択科目の単位には、理学院共通科目、大学院共通授業科目及び他専攻・他研究科の授業科目を含むことができる。
宇宙理学論文輪講	2	通 年		1		MC1～2	理科		
宇宙理学論文講読	2	通 年		1		MC1～2	理科		
宇宙理学特別研究 1	8	通 年			8	MC1～2	理科		
(選択科目)									
宇宙理学入門	1	第2学期前半	2			MC1～2	理科		
場の理論 1	2	第1学期	2			MC1～2	理科		
場の理論 2	2	第2学期	2			MC1～2	理科		
素粒子物理学	2	第2学期	2			MC1～2	理科		
原子核物理学 1	2	第1学期	2			MC1～2	理科		
原子核物理学 2	2	第2学期	2			MC1～2	理科		
宇宙物理学 1	2	第1学期	2			MC1～2	理科		
宇宙物理学 2	2	第2学期	2			MC1～2	理科		
理論宇宙物理学	2	第1学期	2			MC1～2	理科		
物質進化学特論 1	2	第1学期	2			MC1～2	理科		
物質進化学特論 2	2	第2学期	2			MC1～2	理科		
惑星システム学特論 1	2	第1学期	2			MC1～2	理科		
惑星システム学特論 2	2	第2学期	2			MC1～2	理科		
惑星気象学特論 1	2	第1学期	2			MC1～2	理科		
惑星気象学特論 2	2	第2学期	2			MC1～2	理科		
宇宙物質相転移科学特論	2	第1学期	2			MC1～2	理科		
宇宙低温物質科学特論	2	第2学期	2			MC1～2	理科		
宇宙理学特別講義 1	1	(集 中)	1			MC1～2	理科		博士後期課程の修了要件 博士前期（修士）課程から通算して30単位以上を修得すること。※例外規定あり（学院規程第7条参照）
宇宙理学特別講義 2	1	(集 中)	1			MC1～2	理科		
博士後期課程 (選択科目)									
宇宙理学特別研究 2	1 2	通 年			1 2	DC1～3	—		

備考

- 教職課程欄は「認定を受けている免許状の種類を示す。なお、専修免許状（中学又は高校）を申請しようとする者は、「大学が独自に設定する科目」について、合計24単位以上を修得すること。
ただし、免許教科及び学校種ごとに1種免許状の基礎資格を充足していなければならない。
- 同一授業科目で内容の異なる授業が開講される場合は、当該授業科目を複数履修することができる。
- 開講期等は、都合により変更することがあるので、シラバスやELMSグループのMoodleで確認すること。
- 開講期が「不定」「集中」の科目は時期が決まり次第、ELMSグループのMoodleでお知らせします。
- 学期の名称と時期は以下のとおり。
※年度によっては、曜日の都合により学期開始終了月が変わることがあるので、年間行事予定等で確認すること。
 ・第1学期前半：春ターム 4月～ 5月
 ・第1学期後半：夏ターム 6月～ 7月
 ・第2学期前半：秋ターム 10月～11月
 ・第2学期後半：冬ターム 12月以降

自然史科学専攻

授 業 科 目	単位	開講期等	週当配当時間数			主な対象学年	教職課程	備 考	修 了 要 件	
			講義	演習	実験 実習					
博士前期（修士）課程										
（必修科目）										
自然史科学論文講読 1	4	通 年		2		MC1～2	理科		博士前期（修士）課程の 修了要件 必修科目から12単位、第1選択科目から18単位以上を含み、合計30単位以上を修得すること。 第1選択科目の単位には、理学院共通科目、大学院共通授業科目及び他専攻・他研究科の授業科目を含むことができる。	
自然史科学特別研究 1	8	通 年			8	MC1～2	理科			
（第1選択科目）										
地球惑星システム科学概論	1	第2学期前半	2			MC1～2	理科			
マグマ科学概論	1	第1学期前半	2			MC1～2	理科			
マグマ科学特論	1	第1学期後半	2			MC1～2	理科			
宇宙地球化学特論	2	第1学期	2			MC1～2	理科			
地球惑星物質学概論	1	第2学期前半	2			MC1～2	理科			
地球惑星物質学特論	1	第2学期後半	2			MC1～2	理科			
有機地球化学概論	1	第1学期前半	2			MC1～2	理科			
有機地球化学特論	1	第1学期後半	2			MC1～2	理科			
地震学特論	2	第1学期	2			MC1～2	理科			
地球環境史概論	1	第1学期後半	2			MC1～2	理科			
地球環境史特論	1	第2学期後半	2			MC1～2	理科			
地球内部構造特論	2	第2学期	2			MC1～2	理科			
地殻ダイナミクス特論	2	第2学期	2			MC1～2	理科			
衛星測地学特論	2	第1学期	2			MC1～2	理科			
地震火山計測特論	2	第2学期	2			MC1～2	理科			
構造探査学特論	2	第2学期	2			MC1～2	理科			
大気科学特論	2	第2学期	2			MC1～2	理科			
海洋気候物理学特論	2	第1学期	2			MC1～2	理科			
地震・火山噴火予知特論	2	第1学期	2			MC1～2	理科			
多様性生物学入門	1	第2学期前半	2			MC1～2	理科			
多様性生物学特論Ⅰ	2	第2学期	2			MC1～2	理科			
多様性生物学特論Ⅱ	2	第2学期	2			MC1～2	理科			
多様性生物学概論	2	第2学期後半	4			MC1～2	理科			
多様性生物学研究法	2	第2学期	2			MC1～2	理科			
分類学概論	2	第1学期	2			MC1～2	理科			
進化学概論	2	第2学期	2			MC1～2	理科			
科学技術と社会システム特論Ⅰ	1	第1学期前半	2			MC1～2	理科			
科学技術と社会システム特論Ⅱ	1	第1学期後半	2			MC1～2	理科			
科学技術コミュニケーション特論Ⅰ	1	第1学期前半	2			MC1～2	理科			
科学技術コミュニケーション特論Ⅱ	1	第1学期後半	2			MC1～2	理科			
科学技術コミュニケーション特論Ⅲ	2	第1学期	2			MC1～2	理科			
科学技術史特論	2	第1学期	2			MC1～2	理科			
科学技術基礎論	2	第2学期	2			MC1～2	理科			
教育工学特論	1	第2学期	1			MC1～2	理科			
教育統計法特論	1	第1学期前半	2			MC1～2	理科			
自然史科学特別講義Ⅰ	1	（集 中）	1			MC1～2	理科			
自然史科学特別講義Ⅱ	1	（集 中）	1			MC1～2	理科			
自然史科学特別講義Ⅲ	1	（集 中）	1			MC1～2	理科			
自然史科学特別講義Ⅳ	1	（集 中）	1			MC1～2	理科			
博士後期課程										
（第2選択科目）										
自然史科学論文講読 2	6	通 年		3		DC1～3	—		博士後期課程の修了要件 博士前期（修士）課程から通算して30単位以上を修得すること。※例外規定あり（学院規程第7条参照）	
自然史科学特別研究 2	1 2	通 年			1 2	DC1～3	—			

備考

- 教職課程欄は「認定を受けている免許状の種類を示す。なお、専修免許状（中学又は高校）を申請しようとする者は、「大学が独自に設定する科目」について、合計24単位以上を修得すること。
ただし、免許教科及び学校種ごとに1種免許状の基礎資格を充足していなければならない。
- 同一授業科目で内容の異なる授業が開講される場合は、当該授業科目を複数履修することができる。
- 開講期等は、都合により変更することがあるので、シラバスやELMSグループのMoodleで確認すること。
- 開講期が「不定」「集中」の科目は時期が決まり次第、ELMSグループのMoodleでお知らせします。
- 学期の名称と時期は以下のとおり。
※年度によっては、曜日の都合により学期開始終了月が変わることがあるので、年間行事予定等で確認すること。
 ・第1学期前半：春ターム 4月～ 5月
 ・第1学期後半：夏ターム 6月～ 7月
 ・第2学期前半：秋ターム 10月～11月
 ・第2学期後半：冬ターム 12月以降